

【農福連携事例 ～社会福祉法人飛山の里福祉会ハート飛山と近隣農家との農作業の受委託～】

宇都宮市清原地区の社会福祉法人飛山の里福祉会ハート飛山では、近隣農家 6 件との間で、農作業の受委託に取り組んでいます。

農作業の内容は、除草作業のほか、なしの枝収集、収穫用コンテナの洗浄、さつまいもの収穫作業など多岐にわたります。障害者は、熱心に作業に取り組んでおり、能力に応じて農作業を振り分けることが成功する秘訣だそうです。

また、ハート飛山等を構成員とした、清原地区ユニバーサル農業研究会が運営する「プチマルシェきよはら」では、こうした受委託で生産された農産物や、近隣の福祉施設が作ったパンや焼き菓子を販売しています。是非お立ち寄りください！

プチマルシェきよはらの情報はこちらから

<https://www.facebook.com/petit.marche.kiyohara/>



農作業受委託による除草作業の様子



一人一人の能力に合わせ、作業を振り分けます



プチマルシェきよはら 外観



店内には、様々な農産物やパン、焼き菓子等が並んでいます。

◇農福連携事例 ～ほ場の除草作業が行われています～◇

茂木町内の「自然農園 空土ファーム」を営む松原努さんのほ場で、社会福祉法人茂木町社会福祉協議会「ともだち作業所」の利用者と、ともだち作業所が別途支援する社会復帰を目指す方々による、除草作業が行われています。

松原さんとともだち作業所は、2018年7月から農福連携に取り組み、週に1回程度のペースで、継続的に作業を実施しています(^^)

この日、施設の利用者は作業にも慣れ、手際よく除草を行い、約2時間では場はすっかり綺麗になりました♪

今後は、年間を通し除草作業を実施する他、収穫や種まき、苗植え、選別なども実施する予定です。



写真中央の手前が松原さん。作業を始める準備をしています。



一列に並び、手際よく作業を進めています(^^)



◇農福連携事例 いちごの里 めぶきファーム◇

小山市の農業生産法人「株式会社いちごの里ファーム」は、2018 年 10 月に就労継続支援 A 型事業所「いちごの里めぶきファーム」をオープンし、障害者の社会交流・社会進出のための支援をしています（農業生産法人が福祉事業所を設立する事例で、全国的にもこうした取組は増えつつあります）。

事業所では、既に 20 人ほどの利用者が、農業グループ・加工グループ等に分かれ、一人一人の適正を考慮し、作業に取り組んでいます。

農作業は、ランナー（ツル）取りや、完熟したいちごの摘み取りなどが主体となっていますが、基本的にどんな作業にもチャレンジしてもらおう方針で、今後は苗作りもお願いしたいそうです。

こうした農福連携の取組により、完熟したいちごを加工に回せるようになるなど、効率化が図られるとともに、利用者も元気に就労に励んでいるとのことで、農業面、福祉面双方でメリットのある関係が築けています。

今後は、利用者にいちごの栽培技術等をより一層習得していただいて、一般就労や独立への道を開いていきたいとのこと。これからの動向にも注目です(^^)



めぶきファーム外観



農業グループが実施するいちごのランナー取り  
手早く的確に作業が行われています。



加工グループの作業  
いちごを一つ一つ丁寧に加工します。



いちごの里内の販売所で、事業所が携わった  
加工品を購入できますよ(^^)